

令和2年7月15日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名

中谷桂三



有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	議員の資質向上と政務活動活性化
研修期間	令和2年7月13日(月) ~ 2年7月13日
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所(大津) 2 市町村職員中央研修所(千葉) 3 地方議員研究会() ④ その他(自治体議会研究所)
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

派遣成果報告書〔議員派遣(7/13)〕

令和2年7月15日

有田市議会議員

中谷 桂三

〈 経過及び結果 〉

1. 「自治体議会研修所研修」のセミナー参加

7/13(月) 13時30分～16時30分 (3時間)

「議員の資質向上と政務活動費活用策」

2. 講師

高沖 秀宣 (たかおき ひでのり) 氏

三重県地方自治研究センター上席研究員

〈 講義内容と研修の成果 〉

1. 講義項目

- (1) 議員の資質向上
- (2) 「二元代表制」における議会活動
- (3) 政務活動費の適正な使用
- (4) 政務活動費を活用した政策立案の仕方

2. 講義内容

- (1) 議員の資質向上

①議会の役割・機能

議会の役割は、住民の代表機関であり、議決機関であるとされる。議決によって、自治体意思が決定される。議会は、住民の代表機関といった立場から、当該自治体の行政全般にわたる、監視機能を果たすことが求められる。議事機関としての審議・議決・議案提出を通じ、政策形成機能(条例制定等によって、議会自らが自治体の政策を作る役割)を担う。

②議会の役割・資質

議員の役割は、明確な規定はない。各市議会での、議会基本条例で規定されている。議員に求められる資質とは、「専門性」です。議会として、魏遺憾の専門性を高めるための研修会参加等が必要です。

(2) 「二元代表制」における議会活動

①「二元代表制」

議会は、市長の追認機関ではない。予算は、議会の承認をしないと使えないと思っていないか。これは、間違いである。市長と議会の役割は、違う。議会として、正しく税金が使用されるかを、慎重に検討すべきです。

② 議会改革

議会が二元代表制の下で、議会の役割を十分に発揮するために、その機能を強化することが求められています。「議会力の強化」するよう、議会基本条例に定めることです。議員定数削減・議員報酬減額は、議会改革では有りません。ただ今、新型コロナウイルス感染症防止策を講じている中で、専決処分の濫発、一般質問の制限、政務活動費の返上などをしてはダメです。

議会改革は、「機関としての議会」による政策過程を活性化させることで、二元代表制における期間対立主義の理念を作動させようとするものです。

(3) 政務活動費活用策

- ① 政務活動費は、議会の議員の調査研究、その他の活動に資するための必要な経費の一部として、その議会における会派又は議員に対し、政務活動費を交付することが出来ます。なお、政務活動費の使用目的は、議会基本条例制定時に明文化します。

3. 研修の成果

- (1) 議員の役割は、議会基本条例で規定されていますが、我が有田市は、議会基本条例を制定していないため、早急に、有田市議会で、議会基本条例を制定すべきと感じました。また、議員として、求められる「専門性」は、今回のような、セミナー等の研修会を受講して、自分が不足している分野の知識向上に努めていきます。
- (2) 「二元代表制」を、正しく理解すると共に、会派等を活用して、二元代表制の追及(住民に開かれ、住民と共に歩む議会を目指す。)し、戦略をもって、「監視型」から「政策提言型」出来る議会を目指します。
- (3) 議会改革度ランキングは、全国で、我が有田市を含め、和歌山県下の市が、上位 3 百以内に該当していません。議会改革度の 3 つの柱である、情報共有・住民参加・議会機能強化です。今後は、せめて、上位 3 百以内に、有田市議会が入れるよう、議会基本条例制定も含め、議会改革を他議員と協力して推進していきます。
- (4) 我が有田市議会では、残念ながら、政務活動費が支給されていません。講師の方からは、是非、有田市議会も、

議員の調査研究、その他の活動に資するための必要な経費として、政務活動費を約3万円(毎月)もらえる様、市民の了解を得て、市当局に話すべきだと進言いただきました。私も、同感です。今後は、議員の資質向上を図るためにも、政務活動費を要求すべきと思います。議長にも、お願いして、推進していきます。また、通年議会を開催(但し、議員報酬は、副市長並みの報酬にアップすべきです。)すれば、行政の専決処理がなくなると、講師からお聞きし、特に、新型コロナウイルス感染症対策が必要な、こうした時期には、通年議会も必要と考えます。私は、有田市議会議員として、現在6期目18年目を迎えました。有田市民のため、有田市に生まれて良かった。育って良かった。住んでいて良かった。と、言っていただけの有田市にすべき、初心に帰り頑張ります。なお、今回の講師の方を、有田市議会の議員研修会の講師として、今後の課題である、議会改革(議会基本条例制定も含む。)や、政務活動費支給等について、議員全員の意識改革も含め、呼んでいただきたいと思えます。宜しく、検討して下さい。

以上